

すいさん山形

漁民と手をつなく広報誌

No. **360**

令和3年 / **9**月号

山形県漁業協同組合
広報誌

山形県水難救済会

犠牲者ゼロを 目指して

山形県水難救済会は7月10日を皮切りに、各救難所ごとに救助訓練を実施しています。本誌2ページで、その様子を一部ご紹介します。



犠牲者ゼロを目指して



山形県水難救済会 各救難所で救助訓練が行われています!

日本水難救済会は、海で遭難した人々の救助を行う民間のボランティア団体であり、全国の救難所に所属している救助員の数は約5万人に上ります。そのほとんどは漁業者をはじめ、マリネジャー関係者、会社員などで構成され、海難事故発生の一報を受けると、救難所長の指揮のもと速やかに救助に当たります。

海難事故の救助では1分1秒を争うため、より迅速かつ的確な判断及び行動が求められます。その日本水難救済会に所属する、我が「山形県水難救済会」の各救難所員の皆さんは、より高い救助スキルを身に着けるべく、日々の安全に対する意識づけや訓練を決して怠ることはありません。

例年、鶴岡市、酒田市、遊佐町管内の救難所は

合同訓練を行っていますが、昨年度と今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各救難所が自主訓練の形式で行っています。

その内容としては、配備されている救難資機材が緊急時に問題なく稼働するよう点検と整備、可動式ポンプの操法訓練、救命索発射訓練、ゴムボート操法訓練、さらに応急手当と心肺蘇生法等となっております。また、救難所によってはこれらの訓練を、酒田海上保安部や市消防事務組合から指導を受け行っています。

今年度は7月10日の酒田救難所を皮切りに、順次各救難所で訓練を実施しています。今後も、「犠牲者ゼロ」を目指した山形県水難救済会救難所員皆様のご活躍を期待しています。

酒田海上保安部より海難救助の功績に対する感謝状が贈られました

去る8月5日、海上でエンジンが急停止し航行不能となった水上オートバイの男女2人を救助したとして、海上保安部（梶原主税部長）より念珠関救難所の佐藤清紀所長と飛塚裕実副所長の二人に感謝状が贈られました。

当事故においては、外気温が31度と酷暑状態にあり、救助が遅延した場合には救助者2名に身体の危険が生じる恐れがありました。

また、同月17日には、自力で帰還できなくなったパドルボートに乗った親子2名（1名は自力で帰還）を救助したとして、加茂救難所の板垣貢所長、佐藤東一副所長、佐藤義明救助長、吉岡正美副救助長の4名に感謝状が贈られました。

こちらの水難事故においても、夜間帯であったことから、救助が迅速に行われていなければ同親子3名の発見が遅れ、命の危険がありました。

新型コロナウイルス感染を避けるため、野外でのレジャーを楽しむ人が増えている昨今です。海のレジャーについても同様で、釣り等で命を落としてしまう例も少なくありません。海難事故の救助に当たる漁業者の皆様におかれましては、今後も安全操業を心がけながら、海の犠牲者ゼロを目指したご活躍に期待します。



念珠関救難所



加茂救難所

洋上風力発電勉強会 漁業と洋上風力発電事業について

遊佐沖に続き、酒田沖での事業化が検討されている洋上風力発電事業の内容・課題等を学び理解を深めるため、去る8月17日、当組合主催の洋上風力発電勉強会が酒田地区の漁業者を対象に開催されました。

遊佐沖の漁業実態調査を取りまとめた農林水産政策研究所 上席主任研究官の梶脇利彦氏を講師にお招きし、脱炭素化の実現、洋上風力発電が注目されている理由、国・県の政策や酒田市の考え方、また洋上風力発電事業に対する漁業者の向き合い方などについて、漁業者の視点から説明されました。

梶脇氏は、「洋上に風車が建つことを想像した時、最初に思い浮かぶのは、なんでわざわざ海に建てるのか、漁の邪魔になるのではないかと、ということではないだろうか。しかし、一方では海は漁業者だけのものではない、ということを理解する必要がある。まずは漁業者が利用している海域の歴史や漁業の実態をしっかりと把握することが重要である。」などと述べられました。

事業化を進めるに当たっては、2019年に施行された「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律（再エネ海域利用法）」に基づき、先行利用者である漁業者との調整や合意形成を図ることが求められます。また、積極的に漁業協調策の導入を図ることで、沿岸漁業の振興、引いては地域経済に寄与する取組みにつなげることも求められます。そのためには、酒田沖の漁業実態調査を十分に行うことがとても重要です。

今後は現状を認識し、再生可能エネルギー利用の意義と海域の総合的利用の観点から洋上立地を理解し、洋上風力発電の建設と併せ、持続的な漁業の発展に結びつけていくことができるのか等を検討して行く必要があります。

今回の勉強会は、酒田沖の洋上風力発電を考えるスタート、いわばキックオフです。分からないことがまだ多くありますが、漁業振興や地域振興などについて、これからも皆さんと共に考えていく必要があるのではないのでしょうか。



理事会情報

令和3年度 第3回 理事会議案

開催日…令和3年7月21日(水)

場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 令和3年度における理事の報酬(案)について
 - 2 行政庁に提出する業務報告書及び事業計画書について
 - 3 2021年度全漁連賦課金、監査負担金等納入について
 - 4 令和3年度指導事業賦課金徴収方法及び時期(案)について
 - 5 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
 - 6 貸付金の審議について
 - 7 2021年度漁協運動功労者表彰候補者の推薦について
 - 8 由良漁港上架施設設置工事に係る総事業費について
 - 9 令和2年度ディスクロージャー誌(案)の発行について
- 【報告事項】
- 1 令和3年6月末現在における収支状況について
 - 2 令和3年6月末現在における貸付金の状況について
 - 3 令和3年6月末現在における資金運用状況について
 - 4 コンプライアンス推進委員会の開催について
 - 5 第十八漁連丸定期検査、改造資金支払報告について
 - 6 「酒田港水産エリア再編検討協議会」経過報告について
 - 7 令和3年度第一四半期の「庄内海丸」の収支について
 - 8 令和3年度第一四半期における販売促進活動について

令和3年度 第4回 理事会議案

開催日…令和3年9月14日(火)

場所…本所 第一会議室

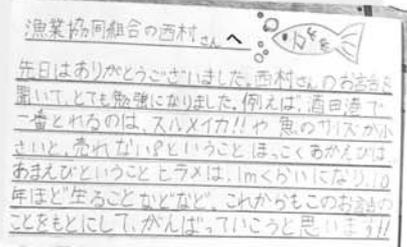
【協議事項】

- 1 令和3年8月末現在の収支状況について
 - 2 役員賠償責任保険の更新について
 - 3 山形県漁業協同組合規約の一部修正及び水産物荷さばき施設管理規定の一部変更について
 - 4 永久劣後ローン参照金利の指標変更について
 - 5 飛鳥支所勝浦製氷機の更新及び増設について
 - 6 共同漁業権漁場における小型定置網漁業及び刺網漁業の制限に関する公示について
 - 7 令和3年度さけ孵化事業にかかる協力金の徴収について
 - 8 共同漁業権行使料の徴収方法及び時期について
 - 9 約定更新について
- 【報告事項】
- 1 酒田港水産エリア再編整備に向けた事業運営体制について
 - 2 洋上風力発電事業における関連事業への参入について
 - 3 約定書の一部改訂について
 - 4 令和3年度「みな貯金推進運動キャンペーン」期間中の定期貯金の上乗せ金利について
 - 5 貸付金利率の改定について
 - 6 組合員の加入・脱退について
 - 7 その他

山大附属小学校の子どもたちが見学にきてくれました!!



今年も、山大附属小学校5年生の皆さんが、当漁協を見学に来てくださいました。今回はコロナ禍の現況もあり、市場や立体冷蔵庫などの施設はお見せすることができませんでしたが、「酒田港で一番水揚げされるのはスルメイカであること」、「資源管理を徹底し、減少が続く水産資源の向上に努めていること」、「高齢化が進み、漁業者が減少していること」を中心に山形の水産の現況を講話し、子供たちは真剣に耳を傾け熱心にメモをとっていました。



また、店頭や釣りなどで魚を見かけたときにぜひ役立ててもらいたいとの思いから、山形県で水揚げされる魚をまとめた「手作り図鑑」を生徒の皆さんにお配りしました。

社会科見学後に届いた生徒さんからの手紙には、「スルメイカが一番多く水揚げされることにびっくりした。」「小さい魚をとらないように網の目合いを大きくしていることがすごい!」「ぼくも将来漁師になってみたい。」等、子供たちの率直で力強い感想が書いてありました。子供たちが水産業や庄内浜に目を向けてくれることは大変喜ばしいことです。また、こうした経験をきっかけに、子供達が魚を食べる機会が少しでも増える事を願います。見るだけで終わらず、おいしい庄内浜の魚をぜひ食べてみてください。みなさん、また見学に来てくださいね。お待ちしております!

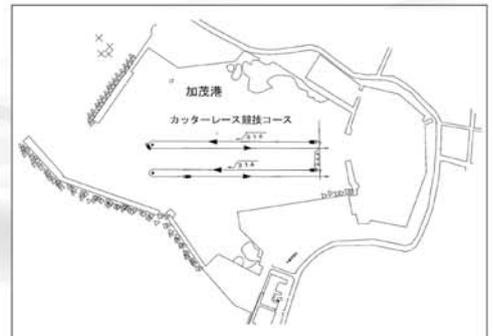


創立記念カッターレース大会開催!!

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったカッターレースですが、今年是对策を講じながら実施することができました。クルーの意気を含ませないと早く進めないこの競技は水産高校の目的に適った素晴らしい大会だと思います。そこで、今回はその起源や実施状況について調べてみました。

○いつから始まった? ……昭和48年7月10日の学校日誌に「第1回創立記念カッターレース大会」と記載されています。カッターが2艇整備され、レースができるようになったようです。その前までは創立記念「水泳大会」が実施されていました。

○実施状況は? ……昨年はコロナの影響で中止、それ以外に荒天2回、カッター遠漕や砂浜運動会、記念講演など他の行事の実施などで4回計7回実施されない年度がありました。ということで今年のカッターレースは41回目の大会だったことが分かりました。これからも大切な伝統行事として存続させていきたいと思ひます。



山形県立加茂水産高等学校 教頭 板垣 寿勇

老後の安心

ねんきん

漁業者老齢福祉共済

月払1,400円~
(20歳 男性の場合)

加入年齢・性別によって
最低掛金額が異なります。

JF共済「漁業者ねんきん」で老後の安心をサポート♪ 契約の見直し相談も実施中!

お申し込み、お問い合わせは信用共済課または最寄りの支所へどうぞ!

9月は 船員労働安全衛生月間です

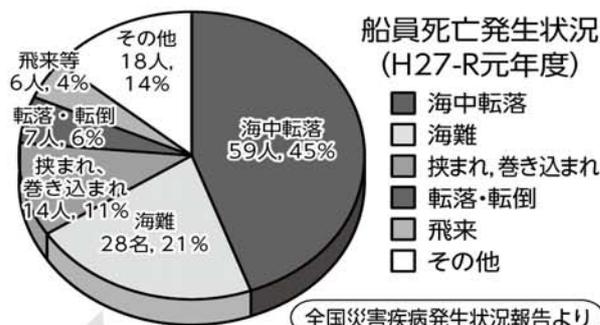
船員労働安全衛生月間は、船舶所有者及び船員の自主的な安全衛生活動の促進により、船内における安全で快適な作業環境と居住環境を実現し、船員の労働災害を防止するため、国土交通省、水産庁が主唱し、船員災害防止協会の協賛のもと、毎年、全国的に実施しているもので、今年で65回目となります。

気を付けよう いつもと違う小さな異変 皆で目指そう 安全運航

今年度の重点事項

- ① 作業時を中心とした死傷災害防止対策
- ② 海中転落・海難による死亡災害防止対策
- ③ 漁船における死傷災害対策
- ④ 年齢構成を踏まえた死傷災害及び疾病対策
- ⑤ 生活習慣病等の疾病防止対策
- ⑥ パワーハラスメントの防止とメンタルヘルスの確保
- ⑦ 船員の受動喫煙防止対策

皆さんの船舶でも、船内の安全衛生設備の点検を行うとともに、乗組員全員で安全衛生について話し合うなど災害、疾病の防止に積極的に取り組みましょう。



5年間で死亡者総数132名。なかでも海中転落による死亡者数が59名、45%にもおよびます。漁労作業中は「救命胴衣の着用」、「荒天時の操業は控える」、「暴露甲板上で単独作業を行わない」などの安全対策を講じましょう。

東北運輸局山形運輸支局 (TEL 0234-22-0084)

海の羽根募金

ご協力ありがとうございました。

7月から開始した「海の羽根」募金活動に御協力いただき大変ありがとうございました。

おかげさまで、9月6日現在の募金は877,988円となりました。(県漁協内での募金総額は10,973円) この募金は、海浜の美化清掃活動の助成に利用させていただきます。

豊かな山形県の海を守るため、引き続き皆様からの御協力をよろしくお願いいたします。



未来につなげよう

青い海と美しい渚

庄内総合支庁水産振興課内
山形県海と渚
環境美化推進協会
事務局 担当：池田

JF共済 共水連会長表彰 特別表彰の部に山形県漁協が受賞

長年における共済事業の取り組みが評価され、この度、「共水連会長表彰 特別表彰の部」を山形県漁協が受賞しました。

これは、普通厚生共済「チョコー」または、生活総合共済「くらし」において、全国の上位実績を収めた組合かつ、特別な功績を収めた組合を表彰するもので、全国では山形県漁協を含めて9つの漁協が受賞しました。

今後とも共済事業のさらなる伸長を目指して参りますので、組合員・地域住民皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



灯油宅配

推進運動展開中

粗品
プレゼント

冬の暖房は断然
灯油がオトク



灯油の配達は 漁協で安心・納得

お近くの支所・出張所にお気軽にお電話下さい。

吹浦支所 ☎ 0234-77-2501
飛島支所 ☎ 0234-95-2014
さかた総合市場 ☎ 0234-24-5617

加茂出張所 ☎ 0235-33-3328
由良総括支所 ☎ 0235-73-3011
豊浦支所 ☎ 0235-73-3006

温海出張所 ☎ 0235-43-3434
念珠関総括支所 ☎ 0235-44-2100

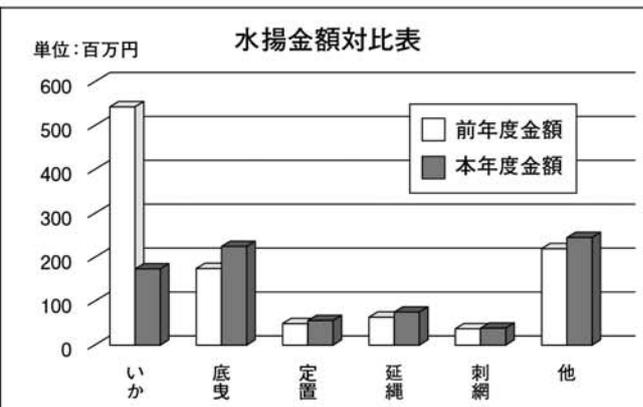
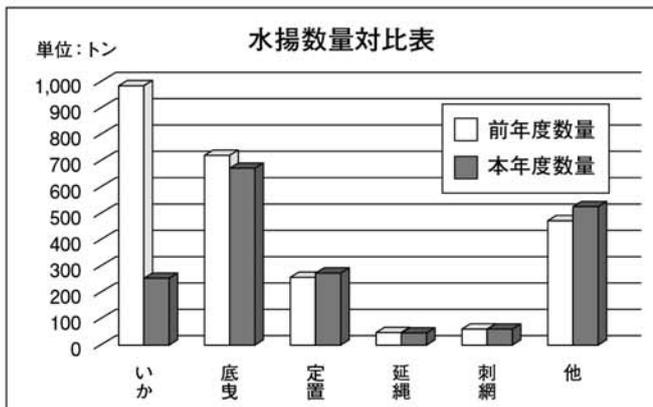
JF 山形県漁業協同組合

漁業種類別前年度水揚対比表

令和3年8月31日現在

(単位: kg, 千円)

	8月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	8月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	35	675,446	722,993	▲47,547	14	226,259	174,940	51,319
2 刺網漁業	5,575	65,168	63,994	1,174	5,414	39,322	38,725	597
3 いか一本釣漁業	20,569	85,727	674,260	▲588,533	17,943	57,343	324,652	▲267,309
4 船凍いか釣漁業	120,352	173,136	312,304	▲139,168	84,833	116,619	219,168	▲102,549
5 はえなわ漁業	4,587	50,780	50,333	447	8,272	76,429	64,852	11,577
6 ごち網漁業	16,823	62,944	66,771	▲3,827	10,567	31,371	36,116	▲4,745
7 定置網漁業	1,275	275,736	260,301	15,435	992	56,761	49,624	7,137
8 採貝藻漁業	17,648	76,388	73,467	2,921	11,895	63,317	53,241	10,076
9 その他の漁業	90,376	382,331	326,959	55,372	34,819	125,806	111,250	14,556
10 張網漁業	0	3,123	6,804	▲3,681	0	1,317	2,764	▲1,447
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	6,130	24,248	16,508	7,740
合計	277,240	1,850,779	2,558,186	▲707,407	180,879	818,792	1,091,840	▲273,048



水揚情報

令和3年8月31日現在

(単位：千円)

支所別 区分	水揚合計	水揚地内訳								
		吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	
7月末迄水揚累計	756,434	26,640	23,767	342,908	44,599	69,818	42,716	10,732	195,254	
月間水揚	県内船水揚	83,603	6,963	5,223	29,187	11,372	9,162	4,715	1,635	15,346
	県外船水揚	91,144	0	0	91,144	0	0	0	0	0
	合計	174,747	6,963	5,223	120,331	11,372	9,162	4,715	1,635	15,346
前年同月水揚	318,893	5,284	13,364	244,049	10,424	17,050	7,194	3,829	17,699	
本年度水揚	県内船水揚	667,301	37,777	30,362	172,536	66,024	101,648	58,542	17,881	182,531
	県外船水揚	127,240	0	0	109,490	0	1,395	0	0	16,355
	合計	794,541	37,777	30,362	282,026	66,024	103,043	58,542	17,881	198,886
前年度水揚累計	1,075,328	31,924	37,131	586,957	55,023	86,868	49,910	14,561	212,954	
増減	-280,787	5,853	-6,769	-304,931	11,001	16,175	8,632	3,320	-14,068	
本年度水揚計画	2,620,000	85,000	67,000	1,357,000	125,000	280,000	168,000	34,000	504,000	
達成率	30.3%	44.4%	45.3%	20.7%	52.8%	36.8%	34.8%	52.5%	39.4%	

今あがっている魚

- 8月のベストテン -

前年対比 増↗ 減↘ 変らず→

水揚金額(千円)			魚獲量(kg)		
1	するめいか	102,769 ↘		1	するめいか
2	かき貝	14,505 ↗	2	べにずわい	52,830 ↗
3	たい	9,409 ↘	3	かき貝	17,188 ↗
4	べにずわい	7,396 ↗	4	たい	14,969 ↘
5	さざえ	6,112 ↘	5	さざえ	12,012 ↘
6	つばい	5,182 ↗	6	その他のばい類	10,181 ↘
7	あまだい	3,976 ↘	7	つばい	6,018 ↗
8	その他のばい類	2,583 ↘	8	あまだい	3,343 ↘
9	めばる類	1,265 ↘	9	おおばい	1,340 ↗
10	おおばい	903 ↗	10	めばる類	1,136 ↘



月間MVP



月間MVP

- 東京オリンピック・パラリンピックが大きな感動を残して閉幕しました。新型コロナウイルスの緊急事態宣言下において、開催を疑問視する声もありましたが、全世界のトップアスリートが最高の舞台で「金メダル」を目指してしのぎを削る姿や勝者が敗者を敬い、敗者が勝者をたたえる姿は見る者を魅了し、スポーツのもつ力を再認識することができました。
- 全国各地で緊急事態宣言の発令や蔓延防止等重点措置の適用を行い、新型コロナウイルス対策を講じたことにより新規感染者数は減少傾向に転じたものの、予断を許さない状況に変わりはありません。一人ひとりの感染しない、感染させないための感染予防の意識と良識ある行動を実践し、一日も早く平穏な日々が戻ることを願っております。
- 今月号に掲載されておりますが、9月に入り、底曳網漁が解禁されたことにより、庄内浜にも活気が戻ってきました。今後の操業の安全と大漁、そして、浜が多くの人々の笑顔で溢れることを心よりお祈り申し上げます。
- 「すいさん山形」は組合員皆様方と様々な情報や話題を共有し、愛される広報誌づくりを心掛けております。今後もご意見・情報等ご提供くださいますようお願いいたします。





9月に入り、徐々に秋の足音を感じるようになりました。各支所では鮮度のいい口細、ヤナギガレイ等をはじめ、高級魚であるノドグロなどが水揚げされ、浜に再び活気が戻ってきました。庄内浜で捕れた新鮮な魚介類を、よりたくさんの人に食べてもらうためにも、今後の安全操業と大漁をお祈り致します。

由良総括支所 佐藤 和行

念珠関

念珠関総括支所からは12隻出漁し、口細ガレイ、ノドグロ、紅えび等をはじめ、例年にはなくスルメイカが獲れています！

様々な魚種が続々と水揚げされ、市場内が賑わい、浜も活気付いています！これから冬にかけ、どんどん魚が美味しくなる季節に突入します。

秋漁が始まり、漁業が本格化するとともに時化等天候の変化も多くなりますので、皆様の安全操業を願いますとともに、豊漁に期待しております。

念珠関総括支所 佐藤悠太郎



酒田



初水揚げでは口細ガレイやホッケなどが漁獲され、季節の移り変わりを市場でも感じる事が出来ます。

市場には多くの漁業者、選別や箱詰め作業のために人が集まり活気に溢れています。

夏の暑さも終わり、涼しさとともに秋の味覚を楽しみに底曳網漁業の大漁を期待しています。

さかた総合市場 佐藤 真生

底
曳
網
漁
解
禁

庄内北前ガニ



カニとサワラ キャンペーン

庄内おばこサワラ



いよいよ今年もズワイガニ漁が始まります！その解禁に合わせて庄内浜ブランド創出協議会では10月2日から「食の都庄内 庄内北前ガニキャンペーン」を開催します。昨年は遊佐、酒田、鶴岡の合計24店舗が参加し、3,000人以上のお客様に召し上がっていただきました。また、10月はサワラの季節でもあります。「食の都庄内 庄内おばこサワラキャンペーン」は10月11日から開催予定です。漁業者も飲食店も厳しい状況が続いていますが、キャンペーンが状況改善の一助となれるよう頑張ります！

庄内水産振興局 早坂 昭